

11月3日には、花と緑の館林づくり協議会関係者28名で第3回目の支援活動として、宮城県牡鹿郡女川町を訪れ、群馬県立大泉高校の生徒が種から育てたパンジー500苗を、プランターへ植込みました。

参加者全員で女川町の小学生と一緒に作業することで、これまで以上に絆を深めることができました。この気持ちが花に伝わり、素晴らしい大輪となることを期待します。

また、館林草花クラブより肥料をお贈りし、さらに館林市立第十小学校PTA7名も同行し、女川町の小学校に直接義援金をお贈りしました。

■お贈りしたもの

- ① パンジー500苗（群馬県立大泉高校の生徒が種から育てたもの）
- ② メッセージカード20枚（群馬県立大泉高校の生徒が作成。花を植え込んだプランターに設置）
- ③ 肥料3ケース（館林草花クラブより）
- ④ 義援金（館林市立第十小学校PTAより）

【須田町長と会談】



【贈呈式の様子】



【花の植込み作業の様子】

